# No. 169

# 3(3)03(0)

Welfare of Fukuoka



# 今 号 の 内 容

■特集 平成30年7月豪雨災害における支援活動と今後 P 1■市区町村社協会長・常務理事・事務局長研修会 P 6■赤い羽根共同募金 P 7■キラリ☆地域のふくしびと P 9

■ふくふくInfo ...... p 10

災害ボランティア活動の様子(関連記事1頁)

じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金

この広報誌は、一部共同募金の 配分金を受けて発行しています。 福祉施設の事故・紛争円満解決のために

ボームページでも内容を紹介しています http://www.fukushihoken.co.jp

土会福祉施設総合損害補償

# しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

# ラッ**犯 施設業務の補償** (賠償責任保険、動産総合保険)

プロート プロート (知頂貝は体際、到底心口に

保険期間1年

【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所:1,300円 通所:1,390円

	▶保険金額		
		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
	対人賠償 (1名・1事故)	2 <sub>億円</sub> ・10 <sub>億円</sub>	2億円・10億円
賠	対物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
賠償事故	受託・管理財物賠償 (期間中)	200万円	200万円
故	うち現金支払限度額 (期間中)	20万円	20万円
に対	人格権侵害 (期間中)	1,000万円	1,000万円
応	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失 (期間中)	1,000万円	1,000万円
	新設 徘徊時賠償 (期間中)	2,000万円	2,000万円
損	事故対応特別費用 (期間中)	500万円	500万円
舞い	被害者対応費用 (1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
お見舞い等の各種費用	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

		年額保険料(掛金)	
		定 員	基本補償(A型)
	基本補償(A型)	1~50名	35,000~61,460円
		51~100名	68,270~97,000 <sub>円</sub>
		以降1名~10名増ごと	1,500円
	見		

基本補償(A型) 保険料

オプション2 ● 医務室の医療事故補償

●看護師の賠償責任補償

●オプション3 ● 信用小馴座賠債事故補債 新設

# プラン 2 施設利用者の補償 (普通傷害保険)

● 入所型施設利用者の傷害事故補償 ② 通所型施設利用者の傷害事故補償

保険期間1年、職種級別A級

	▶年額保険料(掛金)	定員1人1口あたり
1	●入所型施設利用者	1,310円
1	❷通所型施設利用者	990円
7		

3 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償

施設送迎車に搭乗中のケガに対し、プラン2-①、②の 傷害保険や自動車保険などとは関係なく補償

# プラン 施設職員の補償(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険)

・施設職員の傷害事故補償

(10口まで加入できます)

 
 保険金額
 1口あたりの補償額

 死亡保険金
 140万円

 後遺障害保険金
 程度に応じて死亡保険金額の4~100%

 入院保険金(1日あたり)
 1,500円

 手術保険金
 入院中の手術: 入院保険金日額の10倍 外来の手術: 入院保険金日額の5倍

1木陕州间1 平、 喊性級別 A 級		
▶年額保険料(掛金)	定員1人1口あたり	
施設役員・職員	3円(1日あたり)	
1名1口あたり	780円(年間:週5日勤務の場合)	

● 施設職員の労災上乗せ補償

●オプション:使用者賠償責任補償 改定

3 施設職員の感染症罹患事故補償

# プラング 社会福祉法人役員等の補償(賠償責任

会福祉法人役員等の賠償責任補償 改定

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約、賠償責任保険、医師賠債責任保険、個人情報取扱事業者賠償責任保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

○ このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。

# 回体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課 TEL: 03(3349)5137

受付時間:平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3 を除きます。)

# 取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

〈SJNK17-17291 2018.1.12作成〉

開され、約3,300名ものボランティ ンティアの方々と共に被災地支援が展 な支援者が協働し、ニーズ把握や、ボラ C)等において、地元社協を中心に様々 害ボランティアセンター(以下、災害V 本部を設置。また、県内5社協では、災 事を本部長とする福岡県社協災害救援

の方々に活動していただきまし

(支援P)、社会福祉法人、NPO団体、

ンティア活動支援プロジェクト会議

その他にも、行政をはじめ、災害ボラ

様々な人的支援が行われました。

的障がい者福祉協会からの職員派遣等 福岡県老人福祉施設協議会や福岡県知 (県社協延べ28名、市町村社協延べ30名)、 調整による県内市町村社協の職員派遣

台風7号及び梅雨前線等の影響により、西日本を中心に全国的に広い範囲で集中豪雨が発生し、土砂崩れや増水などによる多く の集落の孤立、また多数の死者・行方不明者を出すなど甚大な被害をもたらしました。

福岡県においても、多数の床上・床下浸水等の被害が発生し、久留米市・飯塚市に災害救助法が適用されました。 そうした中、県内の災害ボランティアセンター等において取り組まれた支援活動を振り返るとともに、被災地の復興に向けた今後

# 平成30年7月 豪雨災害における支援活動と今後

の取り組みについて考えます

備考

被害が広範囲に亘っていたた

め、北野地区、城島地区にも拠

点を置き、ボランティアを派遣。 飯塚市社会福祉法人地域公益 活動連携協議会や災害協定企業、一般ボランティア、その他団

事前登録制によりボランティア

体などを中心に活動。

青年会議所、エフコープ生活協同組合

活動を実施。

# アセンタ

活動を実施。 活動していただきました。 受け、7月9日に久留米市災害VCを 体が連携し、復興支援が展開されまし 開始し、898名ものボランティアに 開設、7月 11日からボランティア活動を ました。市からの災害VC設置要請を や多くの企業など様々な関係機関・団 し、災害VC設置準備、情報収集を行 ニーズの収束に伴い、7月23日以降は、

センターの場所

久留米市社会福祉協議会

(久留米市長門石1-1-34)

飯塚市社会福祉協議会

(飯塚市柏の森956-4)

(嘉麻市鴨生339-8)

旧嘉麻北日中一時支援事業所

各災害ボランティアセンターの概要

開設期間

7月9日(月)~

7月9日(月)

7月20日(金)

7月9日(月)~

8月10日(金)

7月22日(日)

市町村

久留米市

飯塚市

嘉麻市

※ 北九州市では、ボランティア・市民活動センターに相談窓口を設置し、ボランティア活動を実施。 ※ 福岡市では、西陵校区臨時災害ボランティアセンターを開設し、近隣在住の方々でボランティア

請を見越して7月7日に職員を招集 久留米市社協では、災害VC設置要

日頃からの顔の見える関係が迅速

# 今回を振り返って

ました。

しさについて痛感する等課題も残り

の活動は続き、収束時期の判断の難

-体制に移行した後もボランティ

害VCの設置に向けて動きだしま 害VC設置準備要請を受け、飯塚市災 月7日、飯塚市災害対策本部からの災 被害等が発生し、飯塚市社協では、7

被害状況を把握するための現地調

とができました。

しかし、通常のボランティアセン

ボランティア活動に結び

つけ

るこ

飯塚市では、床上・床下浸水の住宅

ボランティアセンター飯塚市災害

確認を迅速に行うことができ円滑 ルがあったことで、職員体制や役割 な点も明らかになりましたが、マニュ

強化し災害支援体制の整備を図って 各関係機関・団体とのつながりを更に

きます。(久留米市社協)

ました。

を設置しボランティア活動を開始 備を開始、7月9日に飯塚市災害VC 整を行うなど具体的な救援活動の準 飯塚市社福連)への職員派遣要請・調 法人地域公益活動連携協議会(以下、 締結していた企業や飯塚市社会福祉 を行うと同時に、予め災害支援協定を 査やボランティアに関する相談受付

マニュアルの見直しを行う

今回の災害を踏まえ、災害VC運営

害を想定した準備が必要となります。塚市社福連における研修等大規模災 振り返り、社協内はもちろん、行政と 果たすことができましたが、今後更に 0) 感しています。 また、今回の災害支援における動きを ます。今後、災害協定企業の拡充や飯 で対応することは困難だと感じてい 大規模な災害が発生した場合、同体制 の協議を深めて 今回の災害では、各関係機関・団体 ネットワ クにより、一定の機能を く必要があると実 (飯塚市社協)



ボランティア活動社福連、企業と連携し

ボランティア送り出しの様子

きました。

のボランティアセンターで対応し 閉鎖、その後の被災者への対応は通常

る活動が行われ、7月 20日に災害VCを

延べ326名のボランティアによ

ィア活動を行いました。 の従業員が中心となってボ ラ

業

テ

円滑な支援につながりました。 なボランティア活動に結びつくとと きたことで、被災者のニーズに応じた もに、一定のボランティア数が確保で ランティアを送り出すことができ

ボ

# ボランティア活動の様子

や災害支援協定を締結している14の企人のネットワークである飯塚市社福連

ィア以外にも、飯塚市の社会福祉法

飯塚市災害VCでは、

一般ボラ

# ボランティアセンタ語麻市災害

した。 書に基づく災害VCの設置に至り 性について行政と協議した結果、協定 現地調査を踏まえ、今後の支援の必要 を実施し、ニーズ把握を行いました。 から市内の被害状況確認と訪問調査 路が封鎖され孤立したとの報告。翌日 には、一つの地区が土砂崩れにより道 域の状況確認を続けました。7月6日 ティソーシャルワー 7月5日から、校区担当のコミュ 嘉麻市社協では、大雨が降り始め カー を中心に地

日に嘉麻市災害VCを開設しまし 場使用について快諾を得られ、7 問題もありましたが、商工会から駐車 け入れるための駐車場がないとい 所に設置しました。ボランティアを受 用であった社協所有の建物を使用 ることで合意し、旧日中一時支援事業 災害VC設置場所については、未使

# 事前登録制を採用ボランティア

雨による被害は西日本全域にわたり広 用することが多いのですが、今回の大 較的ニーズが収束してきた時期に採 「事前登録制」を採用。この方法は、比 ボランティア募集にあたって は

新たなニーズに対応してきまし ティアの協力を得て、残り 通常のボランティアセンター し、事前予約制での個人・団体ボラ のニー に移 ズ ン

福岡県社協では、7

· 月 7

日に常務

ため、近隣社協による職員派遣や本会

災害VCの立ち上げ・運営を支える

県内社協における支援

社協における被災地支援

# サテライトの設置

取り調査を行いながら、連携したニー コミュニティ組織、校区社協等へ聞 ズ把握が行われました。 しながら把握に努め、自治会長や校区 分らなかったため、行政と情報を共有 発災当初は、大まかな被害状況し き

ランティア活動が行えるようサテライ ボランティア活動の拠点として、本所 トを設置しました。 島地区の2ヵ所に、効率的・効果的にボ の他に、被害が大きかった北野地区、城 久留米市は広範囲で被災したため、

# 今回を振り返って

大学と連携し、より効果的な支援に結 はじめ、防災士会、NPO団体、久留米 つけることができました。 日頃からつながりの強かった行政を

 $C_{k}$ 

VC運営マニュアルの整備後、初めて の災害VC運営となり、見直しが必要 また、平成27年4月に策定し た災害

懸念されたため、この方法を採用しま ボランテ を適切に図りながら、延べ755名 さから、ボランティア活動者の不足が 0 範囲であること、また、県内にも複数 た ィア等による嘉麻市の報道の少な 災害VCが設置されたことやメ ボランティア数とニーズの調整 イア に活動していただきま 0



# 今回を振り返っ 7

物資の提供などの支援を得ることがで 外の多くの社協からボランティア活動や 各地での活動で出会った方々が多数駆 き、またボランティアも同様に、これまで 過去の被災地での活動が縁で、 県内

> 大きなものを得ることもできたと実感 けつけてくれ、「縁」の大切さを実感しま しています。 よって失うものは確かにありましたが、 した。今回、新たな出会いもあり、被災に

必要があると考えています 深め、日頃から連携の方策を検討す 外の多種多様な業種や団体との関係を 連携・協働が不十 協働が力を発揮した反面、異業種との して残りました。今後は、福祉関係者以 嘉麻市では、社会福祉法人の連携や 分だったことが課題と る

なく、 体のレベルアップにつながるも て見えてきた「自己の弱点」を精査し、日 た。職員一人ひとりが今回の活動を通し す。職員各自が日頃得意とすることや さにそれが実証できたと実感していま 員間で共通認識を持ってきましたが、ま がそのまま反映されることを今まで職 常活動の中で強めて行くことが、社協全 また、災害時の活動が特別なものでは Cにそのまま反映されたと感じま とすることが、集合体としての災害 日頃のソーシャルワークの有り様 のと考え

努めたいと考えています。 を派遣し、経験値を上げることによっ いざという時に力を発揮できるよう 後 的に被災地の現場へ職員 (嘉麻市社協)

# 広島県の支援 九州ブロックによる

きな被害を受けました。 今回の大雨では、西日本を中心に大

島県内の呉市、三原市、坂町の各災害 VCを支援することとなり よる協議の結果、九州ブロ き、全社協及びブ 被災地県社協からの応援要請に基 ロッ ク幹事県社協 ッ クは広

過した現在も懸命な復旧作業が行わ 力を得ながら、「坂町災害たすけあ れています。 センター」支援のために職員を派遣し それに伴 います。現地では、2ヵ月余りが経 い本会は、市町村社協の協

7

いて 資金特例貸付の受付業務の支援につ 市、東広島市、坂町における生活福祉 31日まで広島市に派遣しました。 あり、本会職員2名を7月3日から7月 また、広島県内 b 九州ブロックに応援要請が の広島市 、呉市、三原

要です。

が減少 薄れてくることによりボランティアわらず、一定期間が経過すると関心が のボランティアが必要であるにも関 長期化が想定される場合などは、多く な対応が求められます。また、支援 くのボランティアが集まるため、迅速 災害では、受入体制が整わない中で多 な対応が求められます。特に、大規模 ることがあ 受入体制は、災害の規模により柔軟 し、不足してしまう事態が生じ 0

ます ンテ ます の確保など様々 の持つネッ れ、効果的な情報発信や継続的にボ 地には多く さらに、被災地が複数 マスコミなどから注目され ィアを確保するための工夫、社協 アが集まりにく が、それ以外の被災地ではボラ トワ のボランテ な対応が必要とな クを活 いことも ィアが集ま ある場合 か した人材 考えら る被災 ラ ŋ

援するため、 災地の円滑なボラ 本会に お いて 層体制整備に努めて ŧ ンテ 災害時における ィア活動を支

想定した顔の見える関係づく には、 者 方が連携・協働することが不可欠で 災害V 0 。そのためには、日頃から災害時を ニーズを支援に結びつけるため 被災地社協だけではなく様々な Cにおいて、多種多 様な被災 ŋ が必

【問い合わせ先】

**2092(584)3377** 

地域福祉部地域課

# 災害発生の おそれ 発令時の状況 住民が取るべき行動 避難情報 低 避難準備・ ●避難に時間がかかる人(高齢者など) 避難勧告などを発令する とその支援者は避難を始める 高齢者等 ことが予想される場合 粉蒜醋品 ●その他の人は避難の準備を整える 0 ●早めに避難場所へ避難する ●外出することがかえって危険な状況 危険性が高まった場合 Ŧ ●まだ避難していない人は、早急に避 災害が発生するなど状 兄が悪化し、人的被害の 危険性が非常に高まった では、近くの安全な場所や自宅内の より安全な場所に避難する

及ぼ

害などが発生しやす

人命にも影響を

突発的に豪雨をもたらすため、河川氾濫中豪雨」といいます。時間や場所を問わず

集中豪雨が引き起こす災害

パス、河川より低い道路など)

・防災施設(消火設備、防災倉庫など)

場所に至る経路、避難経路中の危険個所

指定緊急避難場所の位置、自宅から避難

・災害時に危険と思われる場所(アンダ

想定区域・土砂災害警戒区域など

自宅等のある場所で指定されている浸水

ハザードマップで確認したいポイント】・マップを確認することができます。

必ず

しもこの順番通りに発令されるとは

ネッ

上に公開している各種ハザ

難勧告」→「避難指示(緊急)」の順に災害

り、「避難準備・高齢者等避難開始」→

避

す情報を発令します。情報には3種類あそれが高まった場合、自治体は避難を促

避難のタイミング

災害が発生し、又は、災害が発生する

による人的被害の切迫度は高まり

´ます。

較的短時間に大

雨が降る現象を「集

や街中の水はけ悪化による浸水、土砂災

りチェックし、集中豪雨の発生が予想され

します。このため、気象情報をしっ

か

利用することができますが、いざというと

きに正しく使えるよう普段から使い方等

会社が提供する災害用伝言サ

-ビス等を

りにくくなります。安否確認のために電話

災害発生直後の被災地では電話が繋が

冢族や知人との連絡方法(安否度

るときは早めに避難するなど、素早く行

# 高 命を守る風水害対応チャート 台風や大雨などで風水害の危険が迫る O 気象情報で注意報・警報が出ていますか? はい **V** いいえ 避難に関する情報 (避難勧告など) は 気象情報や周辺の状況の変化に注意し、避難 に関する情報が出たら直ちに避難できるよう T (t) すでに浸水して いる、または夜 間で見通しが悪 いですか?

避難行動には、「垂直避難」や「水平避難」といった種類があります。避難をする際には、 そのときの状況に応じて、適切な避難行動をとりましょう。 ・垂直避難(屋内安全確保):切迫した状況において、屋内の2階以上に避難すること。 水平避難 (立退き避難)



域外であっても、危険を感じたら速やか限らず、情報が出ていなかったり、発令し

避難する必要があり

災害が発生しています。災害は、とき・と成30年7月西日本豪雨など、大規模な豪雨成年、平成29年7月九州北部豪雨や平

豪雨災害か

ら身を守るた

め

ころ・ひとを選びません。被害を最小限に

防災体制を確立していくことが重要でち災害に備えるとともに、地域ぐるみで 抑えるためには、日頃から防災意識を持

「垂直避難」と「水平避難」





公開しています。「国土交通省ハザ

ドマッ

活状況によって異なるため、十分に検討 品をどれだけ備えるかは、家族構成や生

ておくことが必要です。

く必要があります。ただし、どのような物害時に必要になる物を普段から備えてお 起こるため、食料や水、生活用品など、災

タルサイト」では全国の自治体がイ

想定などを示したハザ

の自治体では、

災害発生時の被害 ドマップを作成、

ザ

マップの確認

品や非常持出品の準備等に取り組 や知人との連絡方法を決めておく、

準備として、

ドマップの確認、

族

を確認しておきま

備蓄 家

みま

備蓄品・非常持ち出し品の準備

ライフラインの停止や物流のマヒなどが

動することが大切です。日頃からできる

# 避難するときの注意点大雨などから

められる運動靴にする。裸足・長靴は厳 ヘルメットで頭を保護し、靴はひもで締

握しておくことが大切です。また、自治

要配慮者が災害時に抱える問題を把

によっては、災害時に要配慮者の避難所と

して「福祉避難所」が設置されます。

害時に困難となることは様々です。支援者

要配慮者の状態は個人差が大きく、災

それに対応して行動することが困難

危険を知らせる情報が送られてきても、

正しく理解することが困難

# ②足元に注意

長い棒などを杖代わりにして歩くと安全。 り、側溝やマンホ 道路が冠水すると足元が見えにく 動はしな ルに気づきにくくなる。

ように、ロープで互いを結ぶ。

避難するときは2人以上で。流されない

せず、高所で助けを待つ。 になる。危ないと判断した場合は、無理を の流れが速い場合は20センチ程度でも危険 高齢者や傷病者は背負い、子 歩行可能な水深の目安は約50センチ。水

# 要配慮者について 要配慮者とは、高齢者や障がい者、妊

浮輪などを着けて安全を確保す

けを求めることが困難 何らかの支援がないと自らの安全を確保 婦、乳幼児、傷病者や外国人など、災害が できない方のことです。 起きたとき、あるいは起きそうなときに、 ・災害の危険を察知することが困難 自分の身に危険が差し迫っていて 助

危険を知らせる情報を受け取ること

Þ

に避難行動をとってください。

感じた場合は、むやみに近づかず、速やか

日頃、目にしているまちの状況に異変を

# 県内の要配慮者の現状(推計)

障がいのある人

高齢者 (65 歳以上)

などの土砂災害が発生する危険があり

土砂災害の危険性

豪雨災害と併せて、

土石流やがけ崩れ

ることもあるため、注意が必要です。 す。土砂災害は、雨が止んだあとに発生す

土石流

・山鳴りがする

外国人居住者

乳幼児

(0~4歳)

資料/高齢者(福岡県統計調査、平成29年4月1日現在)、乳幼児(総務省統計局、平成28年10月1日現在)、 傷病者(福岡県平成26年医療統計)、外国人居住者(法務省在留外国人統計、平成29年6月末現在) ※障害者手帳交付数は身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付者数の合計です。

# 主な前兆現象

- · がけにひひ割れができる
- 急に川の水が濁り、 流木が混ざり始める ・腐った土のにおいが
- する ・降雨が続くのに川の
- 水位が下がる ・立ち木が裂ける音や 石がぶつかり合う音が 聞こえる

# がけ崩れ

- ·<mark>小石が</mark>パラパラと落ち てくる
- がけから水が湧き出る

基本をまなぶ・記憶をつなぐ

※福岡県

・湧き水が止まる・濁る

地鳴りがする

・がけや斜面から<mark>水が</mark>噴

ができる

地すべり

地面にひび割れ・陥没

- 井戸や沢の水が濁る
- ・地鳴り、山鳴りがする
- ・樹木が<mark>傾く</mark> ・亀裂や段差が発生する

福岡県 自助行動啓発マニュアル

出典:政府広報オンライン http://www.gov-online.go.jp/useful/article/201106/2.html

# 引用・参考文献:福岡県防災ハンドブック、自助行動啓発パンフレット

ネット上で無料公開されています。

http://www.bousai.pref.fukuoka.jp/bousaihandbook/

# 福岡県防災

福岡県が作成した防災冊子がインター 家庭や地域における災害の備えとして、 ぜひ、ご一読ください。

http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/self-help-action.html

②社協自身が地域生活課題を解決す るための連携・協働を進めるにふさ 協働した事業活動が展開できる 様な主体をコーディネート ①地域福祉推進をリード 協に期待されていることはあります。 は社協と示されていません。しかし、 おいて、必ずしも地域福祉の推進組織 実現に向けた指針、改正社会福祉法に していく多

越智 和子氏

められる役割を発揮 社協の性格や使命を正 進める組織の一員という自覚を持ち、 て、社協職員一人ひとりが地域福祉 となど様々な厳し 必ずしも安定しているわけではないこ るプラ などです。 るのではないとい て、地域福祉推進の中の中核組織で また、社協活動で も重要です。 ん。社協だけが地域福祉を推進す イドと覚悟をもたなくてはなり うこと、また、財源 い条件 の意識の しく理解し、 の中にお っと

され

このことを受け、

踏まえた社協事業・活動の方向性につ 越智 和子氏をお招きし、「『強化方針』を 社会福祉協議会常務理事•事務局長

いて」と題して、全社協・地域福祉推進

る体制づく

を支援することなどが示

体的に地域課題を把握して解決を試み けられ、住民に身近な圏域で、住民が主

本研修会の講演では、香

川県·琴平町

試みる体制を支援することが必要で

が主体的に地域課題を把握して解決を

地域共生社会の実現において、住民

す。できるだけ住民に身近な圏域で、

として「地域共生社会の実現」が位置づ

今後の福祉改革の基本コ

ンセプ

理事・事務局長研修会」を開催しまし度市区町村社会福祉協議会 会長・常務

ます。

平成30年度市区町村社会福祉協議会

会長・常務理事・事務局長研修会を開催

協事業

•

活動

方向性

強化方針

を踏まえた

# ◆地域福祉の中核的な担

地域福祉の施策化や地域共生社会の

理事・事務局長を対象とした「平成30年

去る8月20日(月)、福岡市博多区にお

一福岡県内市区町村社協の会長・常務

地域づくりのための活動基盤整備、④ チの徹底、②相談・支援体制の強化、③

との

シ

ップ、を掲げて

クションプランとして

(1)アウ

向けた各社協の事業活動を推進するア

す中で必要となります

め支援することが地域共生社会を目指

化方針」を踏まえ、今後の社協の

役割を は、「強

対応」と「地域の

つなが

n

0)

再構築」に

◆地域共生社会の実

いくの

か

社会福祉協議会(以下

めの社協の事業・活動の方向性と、その

を含めて御講演い

連携が必要です。他人事を我が事と 政をはじめとした様々な関係機関との

て考えてもらう働きかけをし、そう

中での住民の取組をし

つ

かり受け止

社協における住民主体の取組の実例等

について、ご自身の所属である琴平町

Ð

ちろん住民だけではできませ

れを社協としてどう支援する

のか。行

に取り組んでもらうことが重要です。

議してもらうことや、解決でき

る

ませ

はないのかについて、主体的に議論・協

見し、なんとか自分達で解決す

る方法 れを発

った生活課題があるのか、そ

民自身がそれぞれの暮ら

しの中でどう

民他関係団体等との連携や活動支援 員・児童委員、ボランティア、地域住 ③地域福祉を進める関係者、

、民生委

わしい役割や機能を有する

化方針」が求める社協のあり方、取組等 クションプラン」の見直しの背景や「強 委員会副委員長として関わられた、「ア

に必要な取り組みが提起され

村社協が「協働の中核」を担い

よる事業・活動の展開にお

いて、市区町

続けるた

会の実現に向けた各地域の創意工夫に

下、「強化方針」)を策定し、地域共生社

化方針 第2次アクションプラン』(以進委員会では、『社協・生活支援活動強

問

い合わせ先】

**1092(584)3377** 地域福祉部地域課

# ボランティア活動も支えています あなた の募金が、大規模災害時の

活動にも役立っていることをご存じ共同募金は、災害時のボランティア

に備えています。 に3年間分を積み立てて、大規模災害 の規定により、毎年度、募金額の3%を 「災害等準備金」(以下、準備金)とし、常 全国の都道府県共同募金会では、法

行っていただきました。 点に、猛暑の中、復興に向けた活動を 約5万4千人余のボランティア 活を取り戻すためにと、全国各地から カ所(朝倉市2か所、東峰村2か所、添 なさんが被災地を訪れ、福岡県内に5 7 は、被災により不自由な生活を送られ 昨年(平成29年)の九州北部豪雨災害で ィアセンター(以下、災害VC)を拠 いる方々が、一刻も早く安定した生 か所)開設された災害ボラン のみ

出し、災害VCの活動を支援しました。 共同募金会が積み立てていた準備金 る災害VCの運営費等として、福岡県 から総額1,417万2,231円を拠 このボランティア活動の拠点であ

> 県の区域を単位に行う運動ですが、こ 金会を通じて現地の災害VCに届け 総額2億6千万円余が熊本県共同募 を応援しています。 金会が準備金を拠出し合って被災地 は、都道府県域を超えて全国の共同募 のような大規模災害が発生した場合 られました。共同募金は、本来、都道府 会で積み立てていた準備金の中 18カ所(最大時)で開設された災害V の活動状況を踏まえ、全国の共同募金 また、平成28年熊本地震では、同県内 から Ċ

族、近隣のたすけあいだけではできな き出しや荷物の片づけなど、自分や家 いことがたくさんあります。 「たすけあい」の精神が根付く共同募 被災した時、家に入り込んだ泥のか

ティア活動も支援しています。 ながら行う大規模災害時のボラン 金だからこそ、被災者の心に寄り添い



【共同募金のつかいみち】

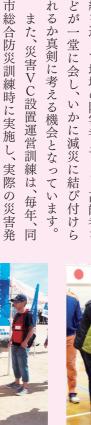
# 災害から命を守るため地域住民で

(写真右)と「災害VC設置運営訓練」(写真 ながら防災関連の競技を行う「防災運動会」 協働して、障害者と地域住民が協力し合い 議会では、同市ボランティア連絡協議会と 左)を実施しています。 共同募金を活用し、大牟田市社会福祉協

れるか真剣に考える機会となっています。 どが一堂に会し、いかに減災に結び付けら 組を通して地域の障害者・子ども・高齢者な 身につけることを目的にしており、この取 を楽しみながら、ともに防災の知識を高め、 また、災害VC設置運営訓練は、毎年、同 防災運動会は、障害者と地域住民が競技

然災害等に対して備えるためにも活用され共同募金は、いつ起きるか分からない自 共同募金は、いつ起きるか分からない







運営等について実践さながらに取り組まれ 況の把握、ボランティアの受付・派遣などの 生を想定して、災害VCの設置から被災状

# 企業の社会貢献活動と共同募金 こども食堂の運営等を支援

~アサヒ飲料株式会社の取組から~

中央共募)に寄託されました。 物品寄付として、中央共同募金会(以下、 「こどもたちの明るい未来づくり基金」 動期間中の売上の一部を、同社設置の 平成30年度は、社会貢献の一環として運 誕生日』全社運動を実施されています。 中心とした『三ツ矢の日』、『カルピスの 矢サイダー」・「カルピス」の店頭販売を 料)では、毎年、全社員参加による「三ツ からの寄付金として、また、同社製品を アサヒ飲料株式会社(以下、アサヒ飲

います。

援することとし、各都道府県共同募金 置付け、地域のこども食堂の定着を応 羽根福祉基金」の協働プログラムと位 (全国の1 会を通じてこども食堂を運営する団体 (福岡県内は、6団体に、合計1 万円)に助成されることとなり そこで、中央共募では、同会の「赤い 42団体に、合計2千296

つながりの場こども食堂は地域

今回の助成を受けた団体の一つ、「ち

単身高齢者まで毎回、70名程が利用して 育成の場として、月2回、社会福祉セン 方々の集いの場、さらにボランティア ター自愛の家で実施され、子どもから もたちが気軽に立ち寄れる場、地域の くじょう子ども食堂」(築上町)は、子ど

が、今回の助成金で購入したホットプ きると、大変喜んでいただきま つ入れて、何度も焼いていたそうです 取材した日のメインメニューはハン ーグ。今まではフライパンに3つず のお陰で一度に20個焼くことがで



に繋がっているそうです。 ニコニコ笑いながらおいしい、おい ています。子どもをはじめみなさんが ながらメニュー決めから調理を担当し ランティア団体(5団体)が毎回交代し いと言って食べてくれるのがやりが ここでは、社協を主として、地域のボ L

精神を高めるための工夫もなされて みを設け、子どもたちのボランティア には、スタンプカードにスタンプを押 し、貯まると食事代が無料になる仕組 また、お手伝いをしてくれた子ども

ただきました。 ゴクと喉を鳴らしながら、おいしく ス」が子どもたちに配られ、みんなゴク この日は、さらに、寄贈品の「カルピ

支援をお願いしま 着していくため、様々な皆様からのご 今後とも、地域の「こども食堂」が定

増加しているとも言われています



【問い合わせ先】

福岡県共同募金会

# こども食堂につ W て

たこども食堂も、今では2千カ所以上に 法人、個人ボランティア等によって運営 はありません。主に、任意団体やNPO の子どもだけを対象にしているわけで 行政の枠組みがなく、必ず る地域の交流拠点となりつつあります。 楽しむ団らんの機会を提供することで る孤食を防ぎ、様々な人が一緒に食事を されているこども食堂が目指してい を支援するためのもの」というイメ あり、近頃では、誰もが気軽に利用で ものは、子どもが一人ぼっちで食事をす 2年前には全国に3百カ所程度だっ 人が多いようですが、法律上の定義や こども食堂とは、「貧困家庭の子ど しも貧困家庭

**☎**092(584)3388 E-mail: bokin@fuku-shakyo.jp

地域の防災活動

# 平成30年福岡県社会福祉大会を開催します

福岡県社協、福岡県共同募金会は、来る10月22日(月)、福岡国際会議場(博多区)で、「平成30年福岡県社会 福祉大会」を開催します。県内社会福祉関係者が一堂に会する本大会は、誰もが安心して暮らせる元気な地域づくり に向け研鑽するとともに、多年にわたって社会福祉の推進に貢献された方々を表彰することを目的に開催しています。

<講師プロフィール>

13:00 開会(受付 12時)

13:05 記念講演

「大規模災害に備えて~今、私たちができること~」

14:20 総会・式典

15:20 閉会

# 講師

認定NPO法人レスキューストックヤード 栗田 暢之 氏 代表理事



1964年生まれ。阪神・淡路大震災を契機に、現在まで50箇所を超え る災害現場で支援活動を展開。またその現場での学びを生かし、地域防 災力向上や災害ボランティア育成等に尽力されています。

NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)代 表理事、震災がつなぐ全国ネットワーク共同代表、東日本大震災支援全国 ネットワーク代表世話人、愛知県被災者支援センター長を兼任するほか、 内閣府、愛知県、名古屋市等の各種検討会委員も歴任しておられます。

【問い合わせ先】総務部総務課 🏖 092(584)3377

# 県民介護講座 [認知症について考えるつどい] を開催します

認知症の正しい理解を促進し、認知症の人や家族を応援する地域の協力者の増加に努めることで、認知症の人 が安心して暮らせる地域づくりを学ぶ機会として県民介護講座を県内3カ所で開催します。どなたでもご参加いただ けますので、この機会に認知症について学びませんか?

# クローバープラザ盟保

時 平成30年10月16日(火) 13時30分から16時10分まで

クローバープラザ 西棟1階クローバーホール(春日市原町3-1-7)

■参加対象 認知症について学びたい方

■定 280名

■参加 無料

一内 講演1 認知症サポーター養成講座

「認知症の人とともにより良く生きる地域をつくろう」 演題

講師 株式会社 パーソン・サポート絆 代表取締役 川島 豊輝 氏

講演2

演題 「介護家族も本人と共に元気に!|

講師 若年性認知症の本人と家族の会【ローズ・マリー】 岡山 和行 氏

# 施設開催(出前講座)

各30名

受 講

1. 認知症サポーター養成講座

演題 「認知症の正しい知識と対応について」

2. 施設体験・見学「認知症の方の尊厳に配慮した介護を目指して」

福岡地区開催日時

平成30年10月26日(金) 13時から16時10分 

特別養護老人ホーム悠生園

大野城市中2-5-5(西鉄バス中村バス停下車 徒歩2分)

筑後地区開催日時

平成30年11月15日(木) 13時から16時10分 時

特別養護老人ホーム常照苑サンシャイン

みやま市高田町濃施377-1

(JR鹿児島本線 渡瀬駅下車 徒歩1分)

# 申込方法

- ・参加申込書に必要事項を記入の上、下記事務局あてFAXまたは郵送でお申し込みください。
- ・参加申込書は本会ホームページでダウンロードできます。詳細はお問い合わせください。

# 【問い合わせ先】

福岡県介護実習・普及センター(県民サービス部 介護実習課) 全092(584)3351

受講された方には 認知症サポーター の証として 「オレンジリング」を 配布します。



# シリーズ **非**ラリ☆地域の

Vol.11

なりたいですか? どんな[ふくしびと]に

このコーナーでは、福岡県内で ふくしの仕事に携わる人の声を ふくしの仕事に携わる人の声を 紹介していきます。

人と交流するのが大好きで、

人見知

# 事業の活動な イフ ^ の 憩い

現在は地域に飛び出

し、相談支援セン

上支援員の業務を担って

ま

したが

スあさくら」に入職して以来、

年

な存在でいた

ビス事業

所に

検討を通してスキ ように、毎月の会議や相談事例の共有・ あっても、どのサポ す。筑前町社会福祉法人連絡会のサポ サポ 現在、ふくお 部会では、 タ としても地域に出て かライフレ W つどの ルの向上を図 ような相談 も対応できる キュ って 事業 V が ま

などを行

って への

います。ニーズを整理しな

移行定着に向けた支援

や地域生活

障害福祉サ

ビス等利用計画書の

作成

0

社会生活を営むことができるよう

障害

のある方やそのご家族が安心

して働いて ー「ほっとリ

います。

ンク」で相談支援専門員

が

ら、地域の資源や福祉サ

スに繋げ

なかで、これ

まで関

わ ピ

ŋ

0)

少

との連携の

大切さを感じて

った機関との繋がりも増え、各関係機

の顔を見たら元気になっても 題が解決するわけではありませんが、私 います。相談したからと言って全て 付けず、相手のことを十分に知り、思い り、出会えてよかったと思っていただけ です。「傾聴」することを常に意識してい をしたことがないほどのお喋り好きな私 しまいます。聴き上手な相談員とな と、業務中もお喋り好きな私が出て ら、自分の価値観を押し いと思 と」になりたいです。 したいと心が レスキ らえる ュ けて の問 悲壮感の軽減が図 よって、被害に遭われた方の孤独感や な情報収集と、速や 中で、緊急時・非常事態でも正確で迅速 か ま で ありがとう。」と感謝の言葉を して床下の泥出しや水出 今 年 7 った。誰も来てくれんと思い も床上浸水が発生 した。「あなたたちが来てく

業務について現在担当している

る

に寄り添って支援を

るような「ふくしび

また、日頃か

後も走り続けたいと思います。 連携して地域のお役に立てる 連携もこれまで以上に強固なものとな 加したことで、他の社会福祉法人との と、単独では困難なことを他の機関 しずつチ りました。地域の方の困りごとにも、 つあり 社会福祉法 ふくおかライフレスキュー事業に参 ´ます。 ムで対応できる体制が 人だか れたと思います。 らこ そで き るこ 整 少



筑前町社会福祉法人連絡会 サポーター部会の様子

# お喋り好き・聴き上手な相談員に!

サポ

タ

、筑前町

し作業を行

# 三紀子 さん 安藤

あんどう みきこ

事業所名:社会福祉法人 善正会

相談支援センターほっとリンク 当:相談支援専門員 趣 味:スポーツ観戦

かな対応・支援に

V

ただく

、よった。

れて助

筑紫平野の北部に位置し、大己貴神社や夜須高原自然の森など、 歴史から大自然まで見所があります。

人口: 29,597人、高齢化率: 28.8% (平成30年4月1日現在)